

奮起

“倫理”
の言葉

中田 恵三



ご先祖が喜ぶ道を選択

ビルのトータル・メンテナ
ー

いる。

ンス業を始めて三十年になる。十三年前に倫理法人会に入会し、これまでに六回の倫理指導と二回の富士高原研修所でのセミナー受講、そして法人レクチャラーとして約百回の講話をさせていただいた。これらの体験は、人生の貴重な宝となっている。

ンス業を始めて三十年にな
る。十三年前に倫理法人会に
入り、初めてモーニングセミナーに参
加した日のこと。倫理法人会の歌「夢かぎりなく」を聞き、とても感動した。とくに「あ
あ、父母に涙さきて」という歌詞には、「何で純粹な
のだろう」と胸にしみた。

『万人幸福の業』の輪読で
は、空気がピリッと引き締まり、緊張感が全身を駆けていた。
シェークスピアは、「人生
は選択の連続である」といっ
たが、私は選択の方法を『万
倫理経営を学び実践したお
蔭で会社は発展し、社員数は
二・五倍に増え、現在三十五
名、売り上げは約二倍も伸び
た。倫理経営の素晴らしさと
実践の大切さを日々実感して
いる。

人幸福の業」から会得した。十七條「人生神劇」の中に、「その時、その場をいかに、真理（神）の筋書きに合するよう演出していいか」とある。この一節から、岐路に立たされた時のヒントを得た。道に迷ったら、ご先祖様が喜んでくれると思われる方を選ぶ。それが、たゞえ困難な道であっても、間違いのない選択方法であると確信した。

以来、ご先祖様に問い合わせ、喜ばれる道を選び、いくつものピンチを乗り越えてきた。「倫理」と出合う前は、逆を選び、何度も痛い目に遭つたとか。しかし今は、それもご先祖様の愛の鞭（贈りもの）だったと理解している。

『万人幸福の業』には、他にも人生の道標となる言葉がたくさん詰まっている。この座右の書を一生かけて熟読・味読し、多くの体験を生み出した。そう心に念じ、毎日「倫理」の学びを深めている。